



学校だより

令和4年度 1月号
朝日みどり小学校
村上市中原2726
電話72-6665 FAX 72-695

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://midori-e.murakami.ed.jp>

「読み・書き・そろばん」を大切に

校長 鈴木 淳

3学期がスタートして3週間が過ぎました。始業式では、13日間の冬休みを家族の皆様と元気に過ごした子どもたちと対面しました。新型コロナウイルス感染症がまだ落ち着きを見せず、全員揃っての始業式とはなりませんでしたが、子どもたちと新年の挨拶を元気よく交わすことができたことは、とてもうれしく感じました。

さて、3学期は53日間の短い学期です。始業式では、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われ、あっという間に過ぎ去ってしまうように感じる学期ですが、進級・進学に向けて自分の生活を見直したり、現学年の学習をしっかりと振り返り、身につけたりしなければならない大切な学期であることを話しました。

昔から子どものうちに身につけなければならない基本的な学力を「読み・書き・そろばん」と表してきました。これは単に、字が読める・字が書ける・計算ができるということではありません。

「読む」	…	相手の伝えたいことを正確に読み取る	こと。
「書く」	…	自分の伝えたいことを正確に表現する	こと。
「そろばん」	…	数字をきちんと把握し、正確な答えを出す	こと。

を意味したものです。

私はこの「読み・書き・そろばん」が学力だけでなく、心の教育にも大切なことではないかと思っています。

相手の伝えたいことを正確に読み取ることは、相手の心を思いやることにつながります。自分の伝えたいことを正確に表現することは、自分をわかってもらい人間関係を広げていくことにつながります。数字（＝身の回りの出来事）をきちんと把握することは、何が正しく何が間違っているかを見極めることにつながります。これも、身につけなければならない「心」の基礎的な力ではないでしょうか。

学校では早速、あいさつ運動、書き初め大会、縄跳びなど様々な活動に取り組んでいます。子どもたちは、どの活動にも一生懸命取り組んでくれています。これらの教育活動を通して「読み・書き・そろばん」を身につけさせていきたいと考えています。

短い3学期ですが、学習、運動、生活面での一人一人の努力が、成果となって表れ、子どもたちの自信に結びつくよう、子どもたちに寄り添って支援に努めていきます。新しい年も、家庭や地域との連携を大切に教育活動を進めていきます。ご支援、ご協力よろしくお願いたします。

